

2020年度事業報告書

2020年4月1日から 2021年3月31日まで

認定特定非営利活動法人日本ファンドレイジング協会

1 事業の成果

2020年度は、新型コロナウイルス感染症の拡大を受け、協会の全業務で大幅な見直しを余儀なくされた。今まで対面で行っていたイベント、研修、打合せはほぼ全面的にオンライン形式へと変更を行った。その中でも対面で行っていた時と同様の価値や学びが提供できるような工夫を常に行い、業務の変革を常に実施してきた1年となった。

(1) 日本の民間非営利団体等におけるファンドレイジング担当者の情報共有、技能や信頼性の向上を図る研修事業

・ 2020年度は、従来の対面形式での活動をすべてオンラインへ移行し、ファンドレイジングの学びの提供、横のつながり構築の支援を行った。また、全国の大学で初となる准認定ファンドレイザー受験資格を授業内で取得できるファンドレイジング演習も開講し、担い手の裾野拡大にも注力した。

(2) 日本の寄付市場に関する調査・研究、及び出版事業

・ 寄付へのポジティブな環境の醸成として、『寄付白書2021』の出版に向けて研究会をスタートさせ、基本方針の検討、基本構成の確定、調査設計と実査、資金調達を行い2021年度の出版に向けて計画を立案し進行させた。

(3) 寄付やボランティアを増やすための社会貢献教育事業

・ 設立4年目を迎える全国レガシーギフト協会への運営協力体制を全国コミュニティ財団協会と協働で実施するとともに、日本初となる遺贈寄付認知向上啓発キャンペーン「遺贈寄付ウィーク2020」の実施、オンライン研修のコンテンツ開発と提供開始、遺贈寄付サロンの開催、不動産査定取次サービス、以上の事業を主軸として行い、日本社会での遺贈寄付の推進を行った。

・ 2015年よりスタートした寄付啓発キャンペーン「寄付月間～Giving December～」。2020年度はコロナ禍でリアルなイベントの実施が難しい中、オンラインやSNSを活用した公式認定企画が大幅に増加した。共同事務局としての主催イベントもすべてオンライン化し、録画をアーカイブとして公開したり、定期的にSNSでライブ配信を実施したりするなど、デジタルを活用した発信に注力した。

・ コロナ禍での社会貢献意識の高まり、寄付意向の高まりの中、寄付によって子どもたちが学び、託されたお金の寄付先を決めるプロジェクト「Learning by Giving」（以下、LbG）を立ち上げ、2020年度中は、3校でLbGを展開した。また、関心はあるが学校での参加の機会がない中高生のために、LbGオンラインを開催した。このオンラインLbGは、LbGに参加した中高生が中心となりプログラムを展開したもので、参加者間のコミュニティの形成にもつながった。

(4) ファンドレイジングを支援する企業、団体などと民間非営利団体等との関係づくりの機会の創出事業

・ 「ファンドレイジング・日本2020 online」を2020年9月5～12日の8日間に渡り初のオンライン形式にて開催した。最新のオンラインカンファレンスのプラットフォームを導入し、参加者は期間中、アーカイブされたセッションを繰り返し視聴することができると同時に、地理的制約を越え、同じ関心や課題意識をもつ人々とのつながりをつくり、強化するためのネットワーキングが可能となった。またプラットフォーム上では期間中多くのメッセージの交流が生まれた。

(5) 社会的インパクト・マネジメントや社会的投資を促進するための調査・研究、開発事業

・ 2020年度は、調査・研究の結果を活かした課題解決の仕組みや制度作り等を併せて行う「ドゥ・タンク（行動集団）」として、社会性やインパクトの多義性などを考慮した、本質的に、国、自治体、事業者、当事者、投資家/寄付者にとって重要かつ通底するインパクトやインパクト・マネジメントの普及を目指し、評価のモデル作りやエコシステム醸成を中心に調査・研究、事業開発を実施した。また、年々増加する現場の評価ニーズにも呼応し、研修等を実施した。

2 事業の実施に関する事項

(1) 特定非営利活動に係る事業

事業名	事業内容	実施日	実施場所	従事者の人数	受益対象者の範囲及び人数	事業費の金額(千円)
(1) ファンドレイザー育成事業	ファンドレイザーのスキル向上、高度な倫理観を有するファンドレイザーの育成	通年	オンライン、当法人事務所及び指定場所	4名	会員及び希望者	23,025
(2) 寄付白書	寄付白書の配布、発行に向けた準備	通年	オンライン、当法人事務所及び指定場所	2名	会員及び希望者	3,116
(3) 寄付・社会貢献教育	フィランソロピー社会の実現に向けて、子どもたちへの寄付者教育を行う	通年	オンライン、当法人事務所及び指定場所	4名	会員及び希望者	13,166
(4) ファンドレイジング大会	非営利団体のファンドレイジングの成功事例を集め、セッションを通じ、学びと気づきを提供する	通年	オンライン、当法人事務所及び指定場所	8名	会員及び希望者	21,024
(5) ソーシャルインパクトセンター	社会的インパクト評価・投資の促進に向けた研究・事業開発、政策提言、啓発活動を行う	通年	オンライン、当法人事務所及び指定場所	3名	会員及び希望者	101,909
(6) その他事業(委託等)	全国からの依頼を受けて講演会、セミナー等	通年	指定場所	3名	希望者	4,201

(2) その他の事業 なし

活動計算書

[税込](単位:円)

特定非営利活動法人日本ファンドレイジング協会

自2020年4月1日至2021年3月31日

【経常収益】		
【受取会費】		
運営会員受取会費	1,176,000	
賛同会員受取会費	28,454,850	29,630,850
【受取寄付金】		
受取一般寄付金	863,735	
Giving Japan基金	2,753,350	
寄付教育推進寄付	7,727,539	11,344,624
【受取助成金等】		
受取助成金		13,621,736
【事業収益】		
事業収益		174,203,382
【その他収益】		
受取利息	219	
雑収益	320,460	320,679
経常収益計		229,121,271
【経常費用】		
【事業費】		
(人件費)		
給料手当(事業)	37,751,595	
役員報酬(事業)	8,400,000	
補助作業者給与	1,499,689	
通勤費(事業)	628,071	
法定福利費(事業)	6,883,803	
人件費計	55,163,158	
(その他経費)		
売上原価	602,965	
業務委託費(事業)	83,021,181	
諸謝金	7,130,720	
印刷製本費(事業)	2,401,679	
会議費(事業)	42,993	
広告宣伝費(事業)	1,024,500	
旅費交通費(事業)	631,461	
通信運搬費(事業)	1,170,301	
備品消耗品費(事業)	158,882	
新聞図書費(事業)	239,743	
水道光熱費(事業)	216,818	
地代家賃(事業)	4,118,852	
賃借料(事業)	178,750	
会場費(事業)	1,497,550	
減価償却費(事業)	151,175	
保険料(事業)	13,140	
租税公課(事業)	7,578,700	
支払寄付金(事業)	1,100,000	
雑費(事業)	967	
その他経費計	111,280,377	
事業費計		166,443,535

【管理費】		
(人件費)		
給料 手当	3,008,375	
補助作業者給与	224,091	
退職給付費用	711,000	
通勤費	44,352	
法定福利費	492,691	
福利厚生費	407,326	
人件費計	<u>4,887,835</u>	
(その他経費)		
印刷製本費	56,883	
会議費	13,194	
旅費交通費	13,748	
業務委託費	7,914,259	
研修費	1,907	
通信運搬費	2,903,151	
備品消耗品費	2,270,021	
水道光熱費	29,149	
地代家賃	653,916	
新聞図書費	19,164	
減価償却費	75,122	
諸会費	638,542	
租税公課	160,050	
支払手数料	5,917,141	
支払利息	342,630	
支払寄付金	500,000	
為替差損	83	
雑費	28,120	
その他経費計	<u>21,537,080</u>	
管理費計		<u>26,424,915</u>
経常費用計		<u>192,868,450</u>
当期経常増減額		<u>36,252,821</u>
【経常外収益】		
経常外収益計		0
【経常外費用】		
経常外費用計		0
税引前当期正味財産増減額		<u>36,252,821</u>
法人税、住民税及び事業税		<u>70,000</u>
当期正味財産増減額		<u>36,182,821</u>
前期繰越正味財産額		<u>26,240,515</u>
次期繰越正味財産額		<u>62,423,336</u>

貸借対照表

特定非営利活動法人日本ファンドレイジング協会
全事業所[税込](単位:円)
2021年3月31日現在

		《資産の部》	
【流動資産】			
(現金・預金)			
現金	64,437		
普通預金	32,498,493		
現金・預金計	<u>32,562,930</u>		
(売上債権)			
未収金	45,332,747		
売上債権計	<u>45,332,747</u>		
(棚卸資産)			
棚卸資産	4,238,122		
棚卸資産計	<u>4,238,122</u>		
(その他流動資産)			
立替金	87,890		
その他流動資産計	<u>87,890</u>		
流動資産合計		82,221,689	
【固定資産】			
(有形固定資産)			
建物附属設備	271,658		
什器備品	26,468		
有形固定資産計	<u>298,126</u>		
(無形固定資産)			
ソフトウェア	48,312		
無形固定資産計	<u>48,312</u>		
(投資その他の資産)			
保証金	1,868,400		
退職給付引当預金	684,000		
差入保証金	16,608,000		
投資その他の資産計	<u>19,160,400</u>		
固定資産合計		19,506,838	
資産の部合計			<u>101,728,527</u>
		《負債の部》	
【流動負債】			
未払金	14,957,837		
前受金	2,210,000		
預り金	342,754		
未払消費税	3,524,600		
流動負債計		21,035,191	
【固定負債】			
長期借入金	17,586,000		
退職給付引当金	684,000		
固定負債計		18,270,000	
負債の部合計			39,305,191
		《正味財産の部》	
【正味財産】			
前期繰越正味財産額	26,240,515		
当期正味財産増減額	36,182,821		
正味財産計		62,423,336	
正味財産の部合計			62,423,336
負債・正味財産合計			<u>101,728,527</u>

財務諸表の注記

特定非営利活動法人日本ファンドレイジング協会

2021年3月31日現在

【重要な会計方針】

財務諸表の作成は、NPO法人会計基準(2010年7月20日 2017年12月12日最終改正 NPO法人会計基準協議会)によっています。

(1). 棚卸資産の評価基準及び評価方法

最終仕入原価法による原価法

(2). 固定資産の減価償却の方法

有形固定資産:定率法

無形固定資産:定額法

(3). 消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は、税込み経理方式によっています。

【事業費の内訳】

事業費の区分は以下の通りです。

部門件数が1ページ内の最大を超えました。明細は別紙に出力します。

【用途等が制約された寄付等の内訳】

用途等が制約された寄付等の内訳は以下の通りです。

当法人の正味財産は62,423,336円ですが、そのうち0円は、下記のように用途が特定されています。

したがって用途が制約されていない正味財産は62,423,336円です。

[税込](単位:円)

用途	金額	金額	金額	金額	金額
受取寄付金					
Giving Japan	0	2,753,350	2,753,350	0	
寄付教育推進寄付	0	7,727,539	7,727,539	0	
受取助成金					
日本国際協力財団	0	2,500,000	2,500,000	0	
三美みらい育成財団	0	3,900,000	3,900,000	0	
子ども宅食プロジェクト	0	4,349,000	4,349,000	0	
HSBC	0	600,000	600,000	0	
東京都仕事財団	0	620,000	620,000	0	
東京都中小企業振興公社	0	1,791,000	1,791,000	0	
合計	0	24,240,889	24,240,889	0	

【固定資産の増減内訳】

[税込](単位:円)

資産	前期末	増	減	当期末	増減	当期末
(有形固定資産)						
建物附属設備	639,036	0	0	639,036	△ 367,378	271,658
什器 備品	3,006,556	0	0	3,006,556	△ 2,980,088	26,468
(無形固定資産)						
ソフトウェア	7,979,132	0	7,715,612	263,520	△ 215,208	48,312
(投資その他の資産)						
保証金	1,868,400	0	0	1,868,400	0	1,868,400
退職給付引当預金	456,000	228,000		684,000		684,000
差入保証金	10,965,000	5,643,000		16,608,000		16,608,000
合計	13,721,124	5,871,000	7,715,612	23,069,512	△ 3,562,674	19,506,838

【借入金の増減内訳】

[税込](単位:円)

借入金	前期末	借入	返済	当期末
長期借入金	23,100,000		5,514,000	17,586,000
合計	23,100,000	0	5,514,000	17,586,000

財産目録

特定非営利活動法人日本ファンドレイジング協会
全事業所

[税込](単位:円)
2021年3月31日現在

(資産の部)

【流動資産】

(現金・預金)

現金	64,437
普通預金	32,498,493
住信SBIネット銀行	(9,797,831)
三菱UFJ1	(2,417,280)
三菱UFJ2	(17,163,111)
ゆうちょ銀行	(7,061)
郵便振替	(951,532)
中国銀行	(2,845,678)
退職引当	(△ 684,000)
現金・預金計	32,562,930

(売上債権)

未収金	45,332,747
内閣府	(23,280,840)
岡山市 SIB業務委託	(19,637,750)
全国レガシィ財協 事務局委託費	(600,000)
株式会社CBTソリューション	(693,000)
その他	(1,121,157)
売上債権計	45,332,747

(棚卸資産)

棚卸資産	4,238,122
ジャーナル	(115,662)
寄付白書	(1,311,669)
Giving Japan	(1,116,000)
ブックレット	(243,084)
寄付教育調査報告書	(48,954)
社会に貢献する	(206,206)
遺贈寄付ハンドブック	(184,002)
社会貢献教育ハンドブック	(205,323)
社会的投資市場形成に向けたロードマップ	(349,386)
遺贈寄付 最期のお金の活かし方	(129,360)
必修研修テキスト	(323,184)
社会的インパクトとは何か?	(5,292)
棚卸資産計	4,238,122

(その他流動資産)

立替金	87,890
源泉所得税	(87,890)
その他流動資産計	87,890
流動資産合計	82,221,689

【固定資産】

(有形固定資産)

建物附属設備	271,658
パーテーション	(170,795)
電気工事	(45,416)
電気配線電話工事	(55,447)
什器 備品	26,468
コピー機	(1)
電話回線	(1)
看板	(26,458)

2020年度 年間役員名簿

2020年4月1日から2021年3月31日まで

特定非営利活動法人日本ファンドレイジング協会

役名	氏名	住所又は居所	就任期間	報酬を受けた期間
代表理事	鵜尾雅隆		2020年4月1日 ～2021年3月31日	2020年4月1日 ～2021年3月31日
副代表理事	早瀬昇		2020年4月1日 ～2021年3月31日	年月日 ～年月日
常務理事	鴨崎貴泰		2020年4月1日 ～2021年3月31日	2020年4月1日 ～2021年3月31日
理事	有馬充美		2020年4月1日 ～2021年3月31日	年月日 ～年月日
理事	伊藤美歩		2020年4月1日 ～2021年3月31日	年月日 ～年月日
理事	久住幸子		2020年4月1日 ～2021年3月31日	年月日 ～年月日
理事	久津摩和弘		2020年4月1日 ～2021年3月31日	年月日 ～年月日
理事	黒田武志		2020年4月1日 ～2021年3月31日	年月日 ～年月日
理事	鈴木 栄		2020年4月1日 ～2021年3月31日	年月日 ～年月日
理事	藺田綾子		2020年4月1日 ～2021年3月31日	年月日 ～年月日
理事	高木美代子		2020年4月1日 ～2021年3月31日	年月日 ～年月日

理事	田中皓		2020年4月1日 ～2021年3月31日	年 月 日 ～ 年 月 日
理事	徳永洋子		2020年4月1日 ～2021年3月31日	年 月 日 ～ 年 月 日
理事	山崎 庸貴		2020年4月1日 ～2021年3月31日	年 月 日 ～ 年 月 日
理事	山北洋二		2020年4月1日 ～2020年6月17日	年 月 日 ～ 年 月 日
理事	山元圭太		2020年4月1日 ～2021年3月31日	年 月 日 ～ 年 月 日
監事	樽本哲		2020年4月1日 ～2021年3月31日	年 月 日 ～ 年 月 日
監事	相浦 圭太		2020年4月1日 ～2021年3月31日	年 月 日 ～ 年 月 日

社員名簿（社員のうち10人以上の者の名簿）

特定非営利活動法人日本ファンドレイジング協会

	氏 名	住 所 又 は 居 所
1	鵜尾雅隆	
2	早瀬昇	
3	鴨崎貴泰	
4	鈴木 栄	
5	久住幸子	
6	徳永洋子	
7	久津摩和弘	
8	山崎 庸貴	
9	山元圭太	
10	樽本哲	
11		
12		